

令和元年度第6回政策会議概要

- 1 開催日時：令和元年8月6日（火）9：05～9：15
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 「三重県職員人づくり基本方針」の改定に向けた進め方について

●後田課長【人事課】（資料1に基づき説明）

「みえ県民カビジョン・第三次行動計画（仮称）」及び次期行財政改革取組の検討とあわせて、「挑戦する風土・学習する組織」及び「時代の変化に的確に対応できる多様な人材」に向けて「三重県職員人づくり基本方針」の改定を行う予定をしている。

現状認識をふまえて、県庁全体で人事制度について幅広く議論・意見交換を行い、課題や対策を「三重県職員人づくり基本方針」改定ワーキンググループにおいて取りまとめるとともに、「三重県職員人づくり基本方針」の改定を行っていくので、各部局長においてもご協力をお願いしたい。

☆大橋部長

新しい人材育成の取組も必要だが、基本的なことがきちんとできた上での、挑戦、チャレンジであると思うので、そのあたりのメッセージも入れて行って欲しい。

●後田課長

大橋部長の意見や部局で集約していただく職員の意見も踏まえて、ワーキンググループで検討していきたい。

議題2 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●福永戦略企画部長（資料2に基づき説明）

7月1日及び7月16日に県Webで公表した「県民の声」の件数は13件で、複数の所属で対応したものがあり、県の対応件数は16件となっている。

主な内容としては、今回も職員の対応についての意見・苦情が3件あった。いずれも、来庁者への配慮に欠ける対応が原因となっているので、改めて目を通し、再発防止に努めていただくようお願いする。

もう1点、先週末、県民の声に関する報道があった。県庁では照明を消して残業している部署があるとか、時間外勤務を申請しても上司から許可されない職員がいるといった内容のものが県民の声に寄せられたという記事だったが、そのことについて総務部長から発言をお願いする。

●紀平総務部長

時間外勤務の適正運用の徹底についてのお願いである。

今回の投稿は匿名で、いろいろ調べたが事実確認はできなかった。人事担当者の会議を8月5日に開催し、1つ目は時間外勤務の事前命令を徹底していただくこと、2つ目は業務に偏重がある場合な平準化を図るなどのマネジメントに努めていただくこと、3つ目はサービス残業はあってはならないこと、これらを部内の会議等で再度周知徹底していただくようお願いしたところ。

部局長におかれても、時間外勤務の適正運用の徹底について、機会あるごとに呼び掛けていただくようお願いする。

(質疑等なし)

☆鈴木知事

豚コレラの防疫措置については、深夜に及ぶ大変な作業を経て無事完了した。作業に関わった職員及び関係部署には感謝申し上げます。

他県では、畜産系の殺処分に関わった職員が、時間が経過してからPTSDなどを発症する事例が報告されており、改めて作業に関わった職員への適切な対応をお願いする。

また、夏季休暇の取得についてもしっかりとマネジメントしてもらいたい。

以上